
平成20年度予算第二特別委員会質問要旨

○ 局別審査 平成20年2月27日

質問者（質問順）

- 1 鈴木太郎 委員（自民党）
- 2 五十嵐節馬 委員（民主党）
- 3 福島直子 委員（公明党）
- 4 山崎 誠 委員（民ヨコ）
- 5 宇都宮 充子 委員（無所ク）
- 6 河治民夫 委員（共産党）

道 路 局

局 別 審 査

1 鈴木太郎 委員（自民党）

1 予算編成に対する決意表明について

- (1) 平成20年度予算について、どのような考え方で編成したのか。
 - (2) 厳しい財源配分の中で、予算編成にあたり工夫した点は何か。
 - (3) 道路局予算案に対する局長の評価について伺いたい。
 - (4) 暫定税率廃止に伴う道路整備への影響を鑑み、道路特定財源の重要性について見解を伺いたい。
- (要望) 確実に道路整備のための財源を確保し、積極的な道路整備を進めていただくよう強く要望いたします。

2 都市計画道路網の見直しについて

- (1) 今回の見直しを行なうことになったそもそもの理由は何か。
- (2) 今回の見直しで目指すものは何か。
- (3) 今回の見直しが市民にとってどのようなメリットがあるのか。

3 横浜環状道路関連について

(1) 横浜環状南線について

- ア 戸塚区内における横浜環状南線の取組状況はどうか。
- イ 地元からは、具体的にどのような意見が出ているのか。
- ウ 営農を希望する方についてどのように考えているか。
- エ 戸塚区内の南線沿線の街づくりについての考えを伺いたい。

(要望) 急激なまちづくりの変化が予測される場合には、局をこえて、地元との話し合いの場を継続するよう要望します。

(2) 横浜環状北線について

- ア 平成20年度の横浜環状北線本線の出資金及び関連街路整備費は、平成19年度と比べてどうなっているのか。

イ 平成20年度予算が減額となっている理由と工事工程への影響について伺いたい。

ウ 平成19年度末の用地の進捗率と今後の課題について伺いたい。

エ 用地取得を迅速に進めるための平成20年度の事業者の具体的な取り組みについて、また横浜市としてどう協力していくのか。

(要望) 今後も引き続き安全に工事を進めるとともに、用地の早期確保に努め、平成24年度の供用に向けて、より一層の積極性をもって事業に取り組んでいただくことを要望します。

(3) 横浜環状北西線について

ア 平成19年度の事業内容は何か。

イ 平成20年度の事業内容は何か。

ウ 今後の進め方はどうか。

4 幹線道路事業について

(1) 3環状10放射道路の平成19年度末の整備状況について伺いたい。

(2) 3環状10放射道路のうち、平成20年度に完成する路線はどこか。

(3) それぞれの路線の整備効果についてはどうか。

(4) 一般国道1号不動坂交差点改良について。

ア 不動坂交差点改良事業の見直しを行った背景について伺いたい。

イ 本市と国との間で、どのような協議を進め、事業展開を図ったのか。

ウ 見直しによる効果は何かあるのか。

(要望) 不動坂交差点改良の整備効果をより高めるためには、不動坂交差点から上矢部インターまでの間も都市計画道路網の見直しで追加指定することを、再度、検討いただくよう要望します。

5 橋りょうのアセットマネジメントと橋守について

(1) 本市の道路橋の健全度について伺いたい。

(2) 補修計画の策定状況について伺いたい。

(3) 橋りょうの補修工事の平成20年度予算での対応について伺いたい。

(4) 橋守（はしもり）事業とはどのような内容か。

6 道路の維持管理について

(1) 道路修繕費を増額したことに対する局長の思いについて伺いたい。

(2) 今後、大きく道路修繕費を増額することが難しいと思われるがどのように対応していくのか。

(3) 舗装のアセットマネジメントについて具体的にどのように進めていくのか。

7 バリアフリー基本構想について

(1) 本市におけるバリアフリー新法への体制づくりと対応について伺いたい。

(2) 戸塚駅周辺地区の基本構想策定にあたり、どのような取り組みを行ってきたのか。

(3) バリアフリー新法を踏まえ、今後どのように基本構想づくりを進めていくのか。

1 踏切対策について

- (1) 踏切5箇年整備計画の進捗状況について伺いたい。
 - (2) 旭区内の整備状況と今後の予定について伺いたい。
 - (3) 旭区内の開かずの踏切の状況について伺いたい。
 - (4) 鶴ヶ峰2号踏切の立体化についての考えを伺いたい。
- (要望) 一日も早く立体化が実現するよう粘り強く調整を進めていただくことを要望します。

2 都市計画道路網の見直しについて

- (1) 見直し素案(案)の説明会、オープンハウスの開催状況と、どのような意見、質問が多かったのか。
 - (2) 見直し素案(案)の優先整備路線の中では、見直し対象路線区間の着手時期を1期、2期、未定と分けているが、どのような理由で分けたのか。
 - (3) 旭区の横浜厚木線のさちが丘交差点から希望ヶ丘方面にかけては、着手時期が未定になっているが、このように、未定とされている路線についての取り扱いは、今後どうなるのか。
- (要望) 都市計画道路の整備は、整備率が低く、長年にわたり道路に対する課題が解決されずにいた区を中心に、整備に向けての市民要望が高く、是非とも、地域の現状等も踏まえ、早期に整備が図られますことを要望します。

3 渋滞解消について

- (1) 本市の渋滞対策の基本的な考え方について伺いたい。
- (2) 保土ヶ谷バイパスの渋滞解消に向けた高速道路の整備の考え方について伺いたい。

4 地域交通サポート事業について

- (1) 青葉区、港南・栄区で実施している自動車学校の送迎サービスの空席を活用

した取り組みにおける利用状況を伺いたい。

(2) 南区の乗合タクシーの利用状況について伺いたい。

(3) 今後地域交通サポート事業を展開するにあたり、区の役割についてどのように考えているのか。

5 公共交通利用促進調査について

(1) バス利用を取り巻く状況についてどのように認識しているのか。

(2) 平成20年度におけるバス利用促進に向けた具体的な取り組みについて伺いたい。

(3) 今後のバス利用促進に向けた行政とバス事業者との役割分担の考え方について伺いたい。

(要望) 将来にわたって、バスを適切に維持していくためにも、利用者を増やす取り組みは喫緊の課題であり、バス事業者と行政が十分に議論し、知恵を出し、効果の高い利用促進策を打ち出し、実行に移していただくよう要望します。

6 バスロケーションシステムについて

(1) バスロケーションシステムの概要について伺いたい。

(2) バスロケーションシステムの導入によりどのような効果があるのか。

(3) 今後の予定について伺いたい。

7 ハマロード・サポーターについて

(1) 現在の市内及び旭区内での参加団体数、人数とどのような団体が参加し、どのような活動を実施しているのか。

(2) 今後どのように進めていくのか。

8 放置自転車対策と自転車駐車場整備について

(1) 市内における過去3か年の放置自転車台数について伺いたい。

(2) 平成20年度の市内駅周辺における自転車駐車場の整備予定について伺いたい。

- (3) 旭区内の自転車駐車場の箇所数、収容台数及び放置台数について伺いたい。
 - (4) 今後どのように自転車駐車場の整備など、放置自転車対策を行っていくのか。
- (要望) 今後とも、区役所等、関係機関と連携した放置自転車対策、自転車駐車場の整備促進に努めていただくよう要望します。

9 自転車走行環境の整備について

- (1) モデル地区の目的及び選定要件について伺いたい。
- (2) モデル地区の今後の進め方について伺いたい。

10 バリアフリー化事業について

- (1) 19年度までの道路局におけるバリアフリー化事業の取り組みについて伺いたい。
 - (2) 20年度の取り組みについて伺いたい。
 - (3) 三ツ境駅周辺地区道路特定事業の概要と進ちょく状況について伺いたい。
- (要望) 旭区にも、三ツ境駅やセンター北・南駅のように、バリアフリー化を進めるべき地域はあると思います。今後、旭区と当局の連携により基本構想の検討とバリアフリー化事業に着手されることを要望します。

11 電線類地中化について

- (1) 本市における電線共同溝整備の実績と整備箇所選定の考え方について伺いたい。
- (2) 一層の推進を図るため、今後どのように取り組んでいくのか。

12 街路樹の根上がり対策について

- (1) 対策の具体的な内容、根上がりが生じている延長と平成20年度の整備延長はどれくらいあるのか。また、整備箇所は、どのように選定するのか。

1 都市計画道路網の見直しについて

- (1) 「都市計画道路網の見直し」に関して、これまでにどの程度の市民意見が寄せられているのか。
- (2) 説明会などに出席できない市民の意見については、どのような方法で把握していくのか。
- (3) 着手時期が未定となっている横浜駅根岸線などの事業着手時期についての考え方を伺いたい。

2 街路樹の維持管理について

- (1) 維持管理計画の策定の進捗状況について伺いたい。
 - (2) 根上がり事業を進める上での課題について伺いたい。
 - (3) 根上がりが生じている主な街路樹は何か。
 - (4) さくらの適切な維持管理に向けどのように取り組んでいくのか。
 - (5) さくらの病虫害防除が簡単に行えない理由について伺いたい。
- (要望) 南区の事例を参考に、さくらの維持保存について、各地域における仕組みづくりを考えていただくよう要望します。

3 フラワーアートイベントについて

- (1) フラワーアートイベントは、道路を使ってどのようなことを行うのか。
- (2) このイベントの開催には、どのような意義があると考えているのか。
- (3) 計画策定はどのように進めていくのか。
- (4) 多くの市民との協働で実施すべきと考えるがどうか。

4 バス活性化対策事業について

- (1) 市内事業者のバスロケーションシステムの導入状況はどうか。
- (2) バスロケーションシステムの利用状況はどうか把握しているのか。
- (3) 共通ICカードのこれまでの導入実績について伺いたい。

(4) 共通 I C カードの今後の導入予定はどうか。

(要望) システムづくりは国の方策かも知れませんが、本市としても、高齢者や障害者の方々にも利用しやすい交通体系の実現に資するため、国と協調して取り組んでいただくことを要望します。

5 公共交通利用促進調査について

(1) 公共交通利用促進調査の対象を路線バスとした理由は何か。

(2) 公共交通利用促進調査を具体的にどのように進めていくのか。

(3) 公共交通の利用を促進していくにあたり、道路局と都市整備局の役割分担はどのように考えているのか。

6 自転車施策について

(1) 「横浜自転車道ネットワーク整備指針」をもとに、どのように施策展開してきたのか

(2) 自転車の走行空間整備にあたって課題は何か。

(3) 自転車道ネットワーク整備における都心部への展開についてどのように考えているのか。

7 自転車利用の安全対策について

(1) 横浜市の19年中に発生した交通事故件数と、それに占める、自転車事故の件数はどれくらいあるか。

(2) ルールやマナーなどを身につける安全教育が重要と考えるが、どのような対策をしているか。

(3) 道路交通法の改正における自転車利用対策の特徴やポイントは何か。

(4) 法改正の内容や罰則、ルールやマナーについて、今後どのように周知していくのか、また、今後の自転車利用の安全対策をどのように講じていくのか。

(要望) 自転車利用者の自覚を高めるための啓発活動が重要であり、子供から大人に至るまで、積極的に当局としても取り組んでいただくよう要望します。

1 災害時の対応について

- (1) 大震災発生時の道路局の役割は、どのように規定されているのか。
 - (2) 横浜市防災計画（震災対策編）では、大地震発生時における道路啓開案の作成にかかる手順と目標時間について、どのように決められているのか。
 - (3) 職員の参集にかかる時間をどのように把握しているのか。
 - (4) 横浜市防災計画（震災対策編）どおりに作業できるのか。また、問題となるプロセスはないのか。
 - (5) 具体的にどうやって道路の被災状況を把握し、情報収集・集約しようと考えているのか。また、情報システムの活用についてどのように考えているのか。
 - (6) 横浜建設業防災作業隊の緊急巡回について、どのような体制で、どのような手順を想定しているのか。また、どのくらいの時間がかかると考えているのか。
 - (7) 安全管理局が開発した地震防災情報システム、「レディー」について、どのように評価しているのか。また、問題はないのか。
 - (8) 土木防災情報システムは、大震災発生時などには活用するつもりはないのか。
 - (9) 国や他の道路管理者からの被害情報を集めることを想定しているが、それらの情報をどのように集約するのか。
 - (10) これらの情報をもとにして、どのように道路啓開案を作成するのか。また、具体的に訓練ではどのような作業を行っているのか。
 - (11) 安全管理局が進めている危機管理システム構築について、道路局としてリクエストしていることはないのか。
 - (12) 発災時の災害対策について、安全管理局、その他関連部署とはどのような打合せ、協議のもと、それぞれの役割分担、作業計画はどのようになっているのか。
- (要望) マニュアルを作って安心せず、現場主義を徹底することで、作業が出来るマニュアルを作成し、実際の状況を想定した上で、徹底的に訓練していただきたい。また、マニュアルは固定的なものせず、常に修正して改良していただきたい。加えてシステムの再構築にできるだけ早く着手していただきたい。

い。一人ひとりの担当者がどれだけ当事者意識と危機感を持っているか、もう一度見つめなおし、災害対策について、維持管理の作業の中で発生する効率化やシステム化とあわせて検討していただきたい。以上を要望します。

(13) 道路の災害対策について、現段階の準備状況、対応に問題はないか。また、課題はどこにあるのか。

(14) シナリオの改訂が必要と考えるがどうか。このシナリオが妥当かどうか。

1 歩道橋について

- (1) 現在、本市の管轄する歩道橋はいくつあるのか。
- (2) 本市の歩道橋は、いつ頃、どのような条件の下で設置されたのか。
- (3) 歩道橋の利用者数など、現状を把握するための調査をするべきと考えるが、どうか。
- (4) 必要性がない歩道橋は撤去し、交通量が多く利用者が多い歩道橋については、長寿命化、バリアフリー化対策を行うなど、計画的に進めていくべきと考えるが、どうか。

2 あんしんカラーベルト事業について

- (1) 2007（平成19）年度の進捗状況と、これまでの事業の検証について伺いたい。
- (2) 2008（平成20）年度の整備予定について伺いたい。
- (3) 今後の事業の進め方について伺いたい。

3 横浜藤沢線について

- (1) 都市計画道路・横浜藤沢線の上永谷舞岡地区の進捗状況について伺いたい。
 - (2) 舞岡公園にかかる工事範囲を極力少なくすることを検討すべきと思うが、どうか。
 - (3) スダジイの木はどのようにしていくのか。
- (要望) 環境に配慮した道路づくりと横浜藤沢線の進捗に伴い、地域住民への説明会の開催について要望します。

4 街路樹施策のあり方について

- (1) 局内でプロジェクトを立ち上げ、維持管理計画の策定に取り組んでいるが、どのような課題があり、今後どのように取り組んでいくのか。
- (2) 街路樹維持管理の実務は土木事務所が行なっているが、土木事務所と道路局

の役割について伺いたい。

(3) 街路樹施策の今後のあり方について伺いたい。

1 生活交通バス路線維持支援事業について

- (1) 市営バスの大幅な再編成が行われ1年が経過した今、生活維持路線や暫定運行路線について、道路局はどのように評価しているのか。
 - (2) 生活維持路線は3年ごとに見直しとのことだが、見直しの基準は何か。
 - (3) 乗車人数等の運行状況が大幅に変更しない限り、見直しの対象とはしないと理解してもよいのか。
 - (4) 民間事業者が、経営困難を理由に撤退の意思表示をした場合の路線存続は、交通局にゆだねられることになるのか、再度確認したい。
 - (5) バス事業者が生活維持路線の運行において、乗車人数の減少などにより収益が悪化し採算がとれない場合など、運行経費の補填はどうなるのか。
 - (6) 2007年度(平成19年度)に事業公募した路線数、応募状況、決定状況はどうだったのか。
 - (7) 事業者決定に至らなかった理由は何か。
 - (8) 経営面の関係で事業者の方は問題にしていないのか。
 - (9) 決まらなかったということは、民間事業者にとって事業として成り立っていないと思う。現事業者の交通局に過度な負担を強いるものであり、補助金の基準を改善すべきと思うがどうか。
- (要望) 現事業者の交通局のさらなる負担となっており、ひいては市民の安心する交通網に逆行するので、補助金等の引き上げを要望します。

2 白根通りについて

- (1) 白根四丁目地区のマンション関連について、2006年度(平成18年度)決算特別委員会以降の進捗状況を具体的に伺いたい。
- (2) 地権者との確認は本当にできていないのか。
- (3) 地権者が明確になったのなら、連絡が取れるかどうかというのは当局の努力次第だと思うがどうか。

- (4) 白根通りが、都市計画道路になった場合の住民のメリットは何か。
- (5) 「地域住民の白根通りの整備を早急にすべき」との声に応え、追加路線ではあるが、他に優先して都市計画の手続きをすべきと思うがどうか。
- (6) 自転車通行者の安全対策をどのように考えているのか。